重慶の現地調査

(2月28日-3月6日)

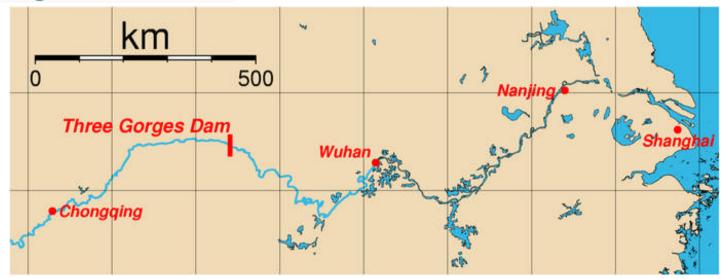
地球環境学研究科 黄光偉

研究対象域:中国の重慶市



長江の上流 3千年以上の歴史

重慶市の巫山県でアジアにおける最古 の人類化石が発見された



中国西部開発の重要な政策として

1998年に重慶を中国の第4直轄市として昇格させた

面積: 82,300 km²

人口: 31,442,300

中国の最大都市となった!

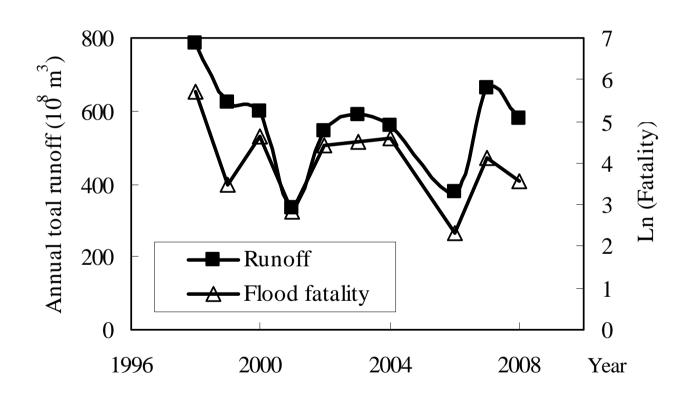
A gateway to the West of China!

自然災害が多い

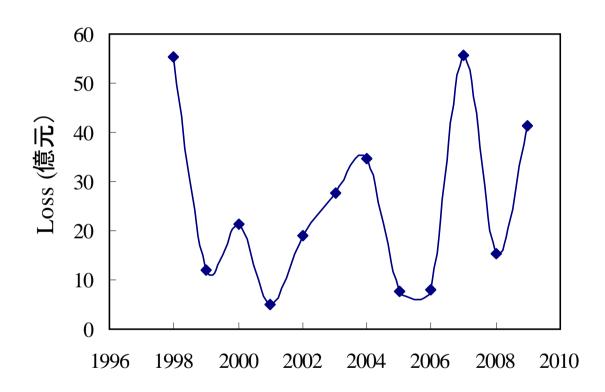


2007 2010

水害犠牲者



水害被害額



多くの河川がある



現地活動内容

調查先

- 長江、花渓河と高滩河(長江の支川)
- 嘉陵江、梁滩河 (嘉陵江の支川)

訪問先

• 重慶大学、重慶科学技術協会

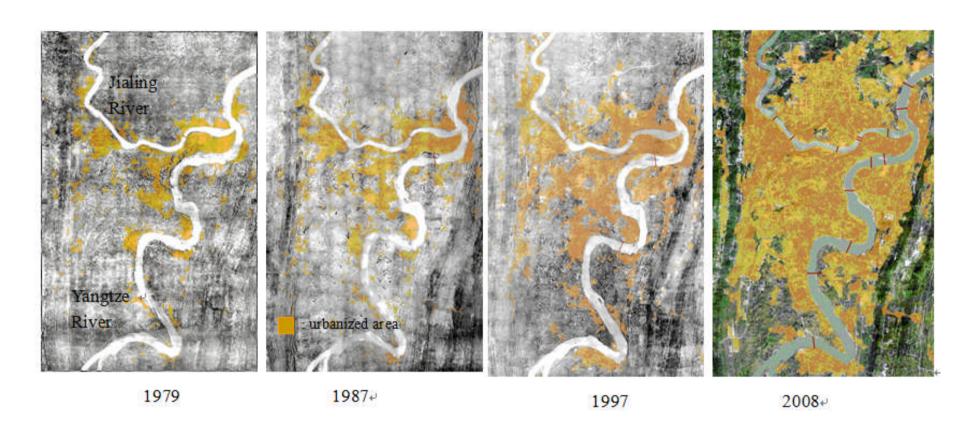
主な目的:研究シーズ探し

• 経済発展、都市化

水害リスク増加

水質悪化

1998年以来土地利用変化



20-25 km²/yr

現地調査結果

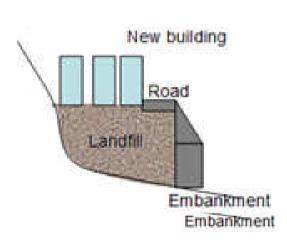
• 大河の水辺開発

• 二級河川流域

嘉陵江

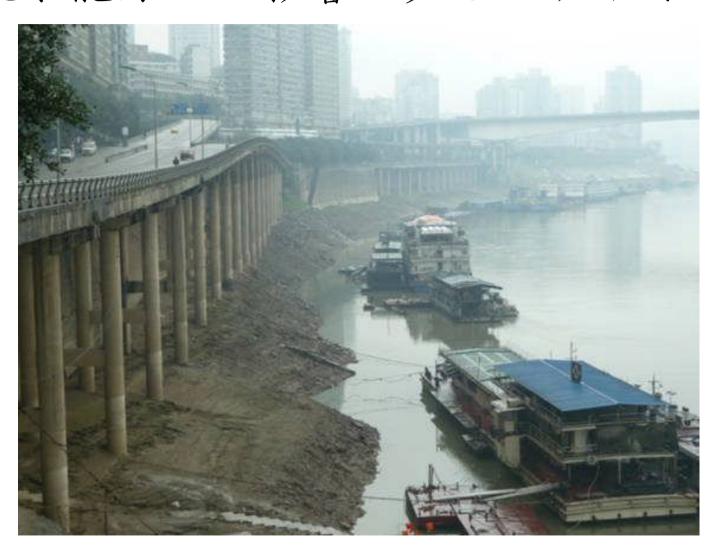


開発初期段階の状況





進化: 流下能力への影響が少ないデザイン

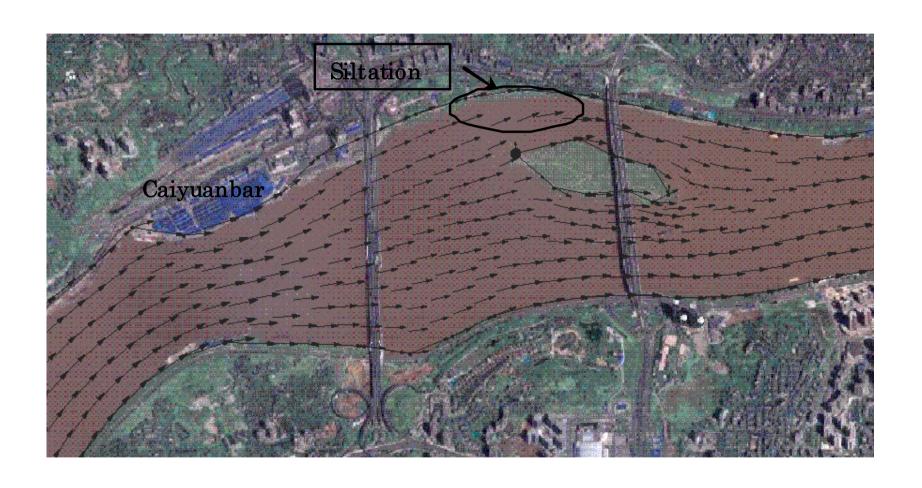


最近数年間



長江





川沿い軌道交通

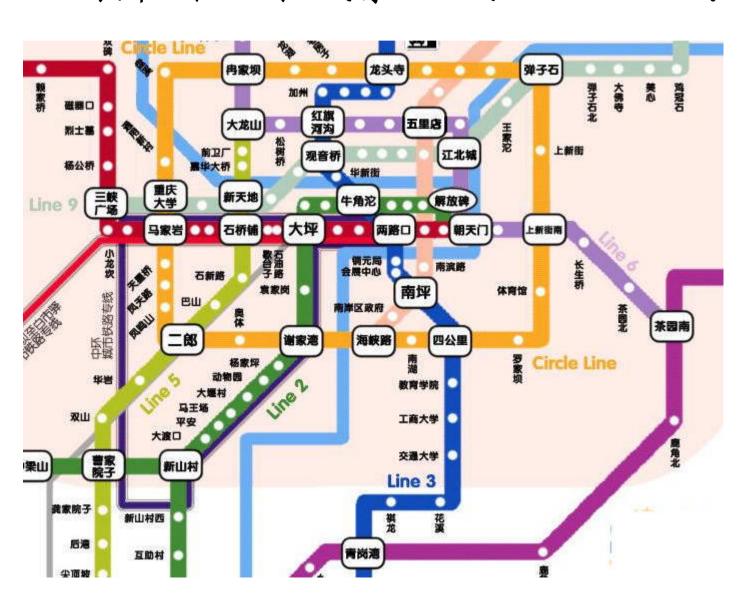


梁滩河





なぜ、梁滩河が開発され、 高滩河の原風景が残されたか?



水質調査できる場所を掴んだ



まとめ

- 大河の水辺開発において水害考慮不十分 → 改善→後退
- 公共交通の発達が二級河川流域の環境悪化 を間接的に助長した
 - 定量評価を試みしている
- 水質調査できる場所を把握した